

## 2次元キャラクターにおける性的消費とマーケティング—女性キャラクターを中心に—

新聞・テレビといったメディアが中心だった広告は、SNSの普及と共により多くの人々の目に触れるようになった。また、SNSの特性として、今までメディアの読者や視聴者だった人々も自身で簡単に意見を発信できるようになった。そうした背景により、近年SNSでは広告が炎上する事例が増加している。本稿では、その炎上した広告の中でも、女性の2次元キャラクターのイラストや3DCGが用いられた広告に焦点を当てた。実際にSNSで炎上したVtuberの戸定梨香、SNSでマーケティングのためのハッシュタグとして用いられた#ラブタイツ、温泉むすめ、宇崎ちゃんは遊びたい、月曜日のたわわの四つの広告の事例を分析し、架空の女性キャラクターは実在する女性との扱いにどのような差があるのか、「性的消費」だとされる広告はどのようなものなのか、アンケート調査などを用いて考察するとともに、炎上する広告への人々の意識を明らかにした。